

4月・5月は新年度の環境変化や異動を機に転職を考え始める層が増える一方、GWの影響で実活動は一時停滞。新生活に慣れた中下旬から、主婦や学生のパート・アルバイト探しが活発化します。6月は夏のボーナス支給後の退職や9月入社を見据えた情報収集が本格化。正社員への意欲が高まり、転職市場が再び活気づく「夏採用」の助走期間となります。

昨年の傾向だと、1記事あたりの応募数はGW明けと6月初旬に盛り上がりを見せています。6月は閲覧数が少なうなるものの、応募数が多いため、年間でも最も採用しやすいタイミングであると言えます。

昨年の同時期の市場状況 4月から6月 (2025年)の動き



データについて：4月7日の閲覧数・応募数を100%として週毎に率で算出

属性ごとの狙い目

	🌸 4月		🌸 5月		🌸 6月	
	1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目	1・2週目	3・4週目
大学・専門学生 / 高校生	○ 学校の履修登録・新入生歓迎会等で多忙のため、情報収集にとどまるケースが多い。	◎ 授業時間割の確定により応募が急増。	△ GWを満喫するため、短期・単発需要狙いの動きがメイン。	◎ 新生活のリズムに慣れ、長期的なアルバイト探しが本格化。	◎ 試験日程を踏まえて夏休みのレジャー資金確保のための動きが活発化。	○ 試験休み直前の「今すぐ働ける」案件や、夏休み限定の短期に応募が集中。
アルバイト・パート	○ 期変わり転職が落ち付き、応募は一時的に減少。まだ決まらぬ方の動きもあり。	◎ 高時給のGW短期で探す方や、期変わり退職者が長期視点で即日・フルタイムで探す方も増える時期。	○ GWの短期・繁忙期アルバイトで稼ぐ。	◎ 家庭の行事も一段落し、落ち着いて職探しを開始。	◎ 今の職場での夏のシフト増減を予測し、より好条件な場所を探し始める動きもあり。	○ ボーナス時期の社人を見て、正社員雇用ありの案件や高時給案件を探す動きもあり。
主婦・主夫	○ 入学式等の学校行事で忙しく、動きが一時的に減少する。	◎ お子さんの学校行事も落ち着き、応募が活発化する。長期志向の求職者が多い時期。	△ 家庭の行事やGW優先、一時的に求職活動は停滞気味。	◎ 家庭の行事も一段落し、落ち着いて職探しを開始。	◎ 春の行事が終わり、腰を据えて働ける長期パートをじっくり比較する動きがあり。	○ 子供の夏休み中も「シフトの融通が利くか」を重視して探す動きがあり。
正社員・契約社員	○ 4月1日入社が終わり、企業・求職者ともに動きが鈍いタイミング。	○ 異動後の不満や早期離職層が動き出す。	△ 転職意欲はあっても、GWの休息を優先。リターン、1ターン希望者の情報収集は活発化。	◎ 夏の賞与後を見据えた転職活動が活発化。4月入社の新卒入社組の転職志向も高まるタイミング。	◎ ボーナス支給を待ちつつ、転職サイトの登録やスカウトを待つ方が増える時期。	◎ ボーナス支給・金額確定を機に、退職決意と具体的な応募が促進。

※評価基準…属性毎の求職者が動く時期を「◎」「○」「△」で評価しております

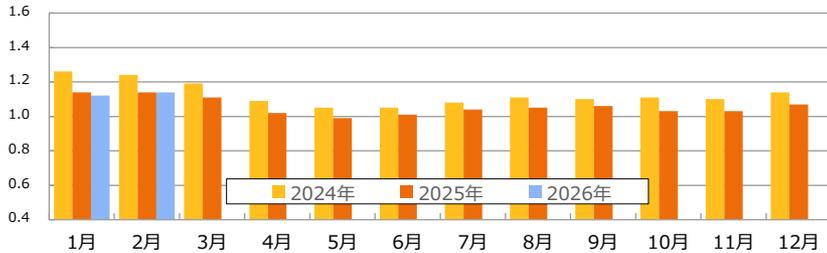


東部地区 有効求人倍率

2026年2月

1.14倍

全国 1.19倍
 静岡県 1.06倍
 前月 (2026年1月) 1.12倍



東部地区 地域別有効求人倍率

東部全域

一般 1.20倍
 パート 1.06倍

富士宮 (富士宮市)
 一般 1.32倍
 パート 0.98倍

富士 (富士市)
 一般 1.29倍
 パート 0.71倍

御殿場 (御殿場市・駿東郡小山町)

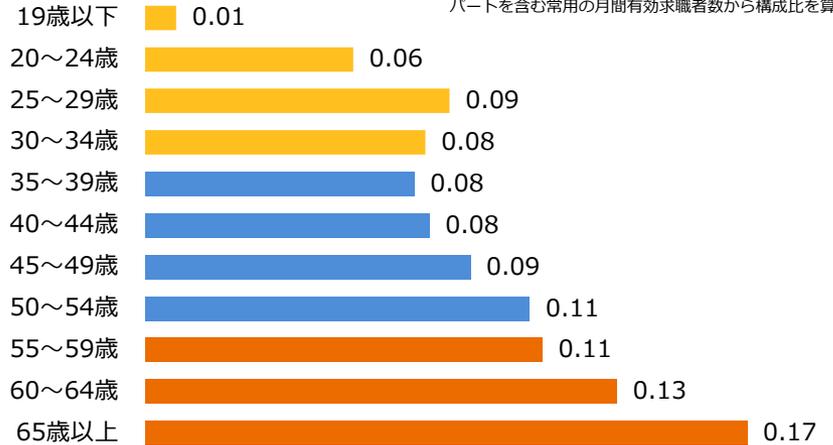
一般 1.52倍
 パート 1.28倍

三島 (熱海市・三島市・伊豆市・伊豆の国市・田方郡)
 一般 1.03倍
 パート 1.09倍

沼津 (沼津市・裾野市・駿東郡清水町・長泉町)
 一般 1.19倍
 パート 1.25倍

静岡県 年齢階級別月間有効求職者数 (構成比)

静岡県労働局 [年齢別常用職業紹介状況] より
 パートを含む常用の月間有効求職者数から構成比を算出



静岡県 職種別有効求人倍率

職業計 1.06倍	保安職業従事者 6.15倍	建設・採掘従事者 4.94倍	介護関連の職業 3.90倍
販売従事者 2.48倍	サービス職業従事者 2.28倍	専門的・技術的職業従事者 2.02倍	輸送・機械運転従事者 1.74倍
生産工程従事者 1.06倍	農林漁業従事者 0.92倍	運搬・清掃・包装等従事者 0.52倍	事務従事者 0.45倍
管理的職業従事者 0.37倍			

静岡県労働局 [求人・求職バランスシート (常用+常用的パート)] より
 ※職業分類は厚生労働省の分類により営業職は「販売の職業」に含まれ「職業計」には分類不能の職業などを含む。

有効求人倍率

求職者1人に対する求人件数。倍率が1を超えるということは、求職者数よりも求人件数が多い(=採用難)ということを表す
 ※県全体の有効求人倍率は季節調整値(季節要因による調整をした数字)だが、地区別の有効求人倍率は、季節調整を行っていない数値

データ出所

職業安定所が毎月集計のうえ、翌月末に前月の数値を発表

